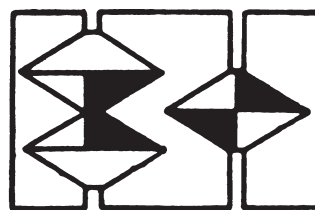


第213号

〔発行〕
令和4年2月13日

〔発行所〕

〒600-8009
京都市下京区四条通室町東入
京都商工会議所内
京都珠算振興会
☎075(353)7124 075(353)7125



2021年 京都カップ珠算競技大会

令和3年12月19日(日)に京都新聞文化ホールにおいて2021年京都カップ珠算競技大会が、小学生・中学生・高校生合わせて152名が参加して開催されました。

今年、新型コロナウイルス感染症の影響で、5月↓9月↓12月と開催時期を2度も変更し、更に会場も変更した上でようやく開催することができました。

また、今年もワコールホールディングス(株)の特別協賛をいただき、団体総合競技、個人総合競技、暗算チャンピオン競技のそれぞれのチャンピオン



と最優秀選手賞(ワコール杯)には、副賞をご提供いただきました。

大会の方は、開会式で、京都商工会議所理事・会員部長の西田敏光京都珠算振興会副会長からあいさつがあり、その後、団体・個人総合競技と暗算チャンピオン競技、オープン競技のフラッシュ暗算と熱戦が繰りひろげられました。

また、成績発表の前には、2020年全国そろばんコンクール小学校4年生の部で第1位となった竹内幸希選手と2021年全国あんざんコンクール小学校3年生の部で第1位となった村友柚選手の伝達表彰がありました。

成績は、団体総合競技において京都市立椋原小学校が初のチャンピオンに輝きました。団体総合競技を創設した初年度の2013年以来、8年ぶりに小学校でのチャンピオンとなりました。個人総合競技の最優秀選手賞(ワコール杯)は、2年連続で1200点満点での同点決勝となる同志社中学校3年の三原智輝選手と初の1200点満点となった長岡京市立神足小学校5年の久野凌佑選手の2名が決勝を行い、三原智輝選手が初の最優秀選手賞に輝きました。また、暗算チャンピオン競技も唯一300点満点の三原智輝選手がこちらも初のチャンピオンとなりました。



来年は、総合競技と暗算チャンピオン競技の両方で、満点での決勝となることを期待しています。

最後に寺田剛大会委員長からの講評と入江実副会長より閉会のあいさつがあり、無事に予定通り終了しました。来年は、延期することなく予定通り6月に開催したいと思っておりますので、多くの生徒(選手)のご参加をお待ちしています。

予定通り、大会が終了できましたのは、当日ご参加いただきました会員の多くの先生方、青年学生部の方のご協力のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

競技委員会

第65回塾生珠算競技大会

令和3年11月14日(日)にラポール京都2階ホールにおいて第65回塾生珠算競技大会が小学生・中学生・高校生合わせて136名参加の下、開催されました。

今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、小学4年生以下の部と高校生の部を午前に、小学5・6年生の部と中学生の部を午後に分け開催しました。

大会は、午前・午後ともに入江実副会長からあいさつと川本敏代競技委員長から競技上の注意があり、競技が開始されました。

競技は、団体・個人総合競技、よみあげ算競技、よみあげ暗算競技、フラッシュ暗算競技の順で熱戦が繰りひろげられました。

団体総合競技においては小学4年生以下の部はそろばん教室アイが初優勝、小学5・6年生の部はそろばん脳育学園が2連覇、中学生の部は猪熊珠算教場が6年ぶり、高校生の部は西京都学院が2連覇でそれぞれ制しました。

個人総合競技は、全ての部門が満点での優勝となりました。小学4年生以下の部は高橋風介選手が初優勝を飾りました。小学5・6年生の部は竹内幸希選手が2年連続の満点で、小学4年生以下の部の連覇を含めると3年連続の優勝となりました。中学生の部は2年連続で満点での決勝となり、佐藤実来季選手との同点決勝を制した三原智輝選手が3年連続満点での2連覇となりました。高校生の部は磯

貝勇誠選手が5年連続の満点で2連覇を果たし、中学生の部の3年連続を合わせ、5年連続の優勝となりました。種目別競技は、小学4年生以下の部はよみあげ算を矢ヶ部椎名選手、よみあげ暗算を高山開智選手がそれぞれ2連覇で、フラッシュ暗算は、高橋風介選手が優勝しました。小学5・6年生の部はよみあげ算とよみあげ暗算を山本柚葉選手、フラッシュ暗算を竹内幸希選手が制しました。中学生の部はよみあげ暗算とフラッシュ暗算を三原智輝選手がともに2連覇で優勝し、よみあげ算を矢ヶ部菜月選手が制しました。高校生の部はよみあげ暗算とフラッシュ暗算を磯貝勇誠選手が2連覇(中学生の部を含めると5年連続)を果たしたものの、よみあげ算を林真穂選手が制し、磯貝選手の2年連続での5冠を阻止しました。

また、今年も(株)ツーンネット様より参加者全員にスヌーピーのマスクケースをご提供いただきました。今年も、満点獲得者が昨年と同じ5名で、6年ぶりに全部門満点により優勝が決まるレベルの高い大会となりました。

また、種目別競技でも、小学4年生以下の部は2年連続で各種目の優勝者が異なるなど非常に白熱した大会となりました。

来年は、複数の部門で満点者同士の決勝がある、さらにレベルの高い大会となることを期待しています。来年こそは元通り小学生から高校生までが一堂に会し、大会を開催したいと考えておりますので、会員の先生方にはぜひ団体を構成し1人でも多くの塾生を参加させていただき活気ある大会となるようご協力をお

願い致します。朝から夕方まで長丁場となりましたが、当日お手伝いいただいた先生方、青年学生部の方、ありがとうございました。競技委員会

二十三代珠算名人位

決定戦を終えて

西京都学院 洛南高等学校2年

磯貝 勇誠

名人戦の出場は、今回が2回目でした。前回は予選(1回戦)敗退でしたが、それから3年の試行錯誤を経て、予選で高確率で満点を取れるように克服しました。そのため、練習は、2回戦以降のトーナメント戦が中心でした。目標とする選手は、20年に亘り、10期連続名人の土屋名人。大会2か月程前から土屋名人との対戦を想定してそれを繰り返し続けました。あくまで自分の想定で話ではありますが、初めは1種目勝てるかどうかだったのが、少しずつ計算速度が速くなり、土屋名人に近いきましました。

そんなふうに入屋名人と対戦したいと意気込んでいたのですが、大会2週間前に土屋名人が名人戦の参加を辞退されたことが分かりました。非常に驚き、少し残念に思いましたが、むしろ何としても自分が新名人になりたいという気持ちが一層強くなりました。それからの2週間は、

今までそろばんをやってきた中で最もしんどい時期でした。名人になるということ強く意識しすぎたがた

めに、精神的に不安定になり、夜もなかなか眠れませんでした。不安を取り除くには、たくさん練習をして「自信をつけるしかない」と思い、毎日を過ごしました。

大会当日を迎え、会場には穏やかな音楽が流れていましたが、それは対照的に張りつめた空気を感ぜました。1回戦が始まり、わり算が難しかったり、伝票が下側に反り返っていてうまくめくれなかったりして、正直、自信がありませんでしたが、結果は無事満点でトーナメント戦に進みました。

2回戦は、落ち着いて立ち回れたのですが、3回戦でハプニングが起きました。最初の種目に苦手な伝票算が選ばれ1敗。そこで焦ったのかそこから3種目連続で失点。1勝3敗に追い込まれました。そこで心を落ち着かせ、3連勝し、何とか勝てたものの不安が残りました。

続く準決勝戦を突破し、ついに名人位決定戦。相手は2歳年上の堀内遥斗選手。これまでの大会で直接対戦したことがあまりなく、戦略が立て辛いと感じました。堀内選手が3回戦で僕の1歳下のライバル、辻窪凜音選手に4勝1敗で勝っていたこともあり、不安に感じながら名人位決定戦が始まりました。結果は、1勝4敗で敗北。悔しすぎて、何も考えられなくなっていました。インタビュアーでは、堀内新名人を称える余裕もなく、ただ悔しいと言ったことしか言えませんでした。

大会終了後、谷口先生や祖父に「敗者は潔く負けを認め、勝者を称えないとだめだ。そういうことをしっかりとし、一流になれる。」とい

うようなことを言われました。技術的にも、精神的にも、立ち振る舞いの面でも、まだまだ未熟だと思いましたが。

そんな未熟な僕をいつも温かく見守り、人として大切なことも教えて下さる谷口先生、練習問題をいつも準備して下さっている寺田先生や木下先生、また、僕のことをいつも気にかけて応援して下さいる先生方には、感謝してもしきれません。

2年後、技術面、精神面、人間性、その他：を改善して、また名人戦に挑むつもりです。これからも温かく見守って頂けると幸いです。

二十三代 珠算名人位決定戦観戦記

二十三代珠算名人位決定戦が11月28日(日)、KFCホールにおいて、75名の選手が参加して熱戦が繰り広げられた。京都からは、磯貝勇誠選手と三原智輝選手が出場した。

2年に1度開催される名人位決定戦であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催であり、前回大会まで10連覇していた土屋名人が不出場を表明し、21年ぶりに新しい名人が誕生する大会となった。

土屋名人には、大会冒頭で四代永世名人が授与され、初の男性の永世名人が誕生した。(京都府以外の永世名人も初です。)

大会は、一回戦は7種目700点満点の総合競技形式で上位16名(今回は第二十二代名人が不参加のため、1人増となった。)がトーナメントとなる二回戦に進むこととなる。今回

は、新型コロナウイルス感染症対策もあり、種目ごとではなく、全種目終了後の交換採点に変更となった。前回大会で700点満点が13名であったことから、多数出ることを想定していたが、わり算がかなり複雑だったようで、満点は8名と前回は下回った。その後、695点で6名、残り2つの枠を600点の5名の中から選出することとなった。京都の選手は、磯貝選手が700点で初の二回戦進出、三原選手は、645点であった。

突破した16名の顔触れは、社会人が4名、大学生が4名、高校生が6名、中学生と小学生が各1名と今までの名人戦の中では、若い選手の進出が多く、世代交代が進んでいる印象となった。

二回戦以降は、この16名による1対1のトーナメントとなる。Aブロックは、4試合とも一回戦が700点満点であった、辻窪凜音選手(高2・埼玉県)、堀内遥斗選手(大1・千葉県)、弥谷拓哉選手(大3・埼玉県)、金本大夢選手(大2・大阪府)の4名が貫録を見せ、三回戦に進んだ。

Bブロックは、磯貝選手が、小学生で唯一、二回戦に進出した園田柚子選手(小6・神奈川県)と対戦し、4勝1分けと貫録を見せ三回戦に進んだ。園田選手も、5種目の中でかけ算に1題のミスがあったものの、それ以外の4種目は6点満点と健闘をみせた。それ以外の3試合は、社会人と大学生・高校生が対戦する形となり、浅野貴宏選手(社会人・北海道)、小川理緒選手(高2・栃木県)、原子弘務選手(社会人・埼玉県)が三回戦に進んだ。

三回戦は辻窪選手対堀内選手、弥谷選手対金本選手、磯貝選手対浅野

選手、小川選手対原子選手の対戦となった。

磯貝選手は、挙手では、先行したもののミスが出てしまい、4種目を終え、1勝3敗と社会人らしい落ち着いた戦いを見せた浅野選手に土俵際まで追い込まれたが、残りの3種目を先に挙手し、6点満点を重ね、逆転の4勝3敗で準決勝への進出を決めた。実は、東京に向かう新幹線の中で1勝3敗になったら、どのようにかの会話を磯貝選手としており、それが少しでも役に立っていればいいのですが。

残りの3試合は、堀内選手が危なげなく4勝1敗で、金本選手が大学生同士の手に汗握る、一進一退の攻防を4勝2敗で、小川選手が3連敗からの4連勝という大逆転勝ちで、それぞれ、準決勝へと駒を進めた。

準決勝は、堀内選手と金本選手の大学生同士、磯貝選手と小川選手の高校生同士の対戦となった。堀内選手と金本選手の対戦は、4種目までお互いに取り合い、一進一退の戦いとなったが、5種目目のわり暗算を今大会の最速タイムで堀内選手が制し、6種目目のみと暗算で先に挙げた金本選手にミスが出たため、4勝2敗で堀内選手が名人決定戦への進出を決めた。千葉県としては、姉の堀内祥加選手(当時)が第十八代珠算名人位決定戦に進出して以来、5大会ぶりの進出となった。

それぞれ逆転で三回戦を突破した磯貝選手と小川選手の対戦は、5種目とも磯貝選手が先に挙手をし、みとり算でのミスがあったものの、4勝1分けと危なげなく、名人位決定戦への進出を決めた。京都府としては、波多野優香三代永世名人が最後に名

人となった第十一代珠算名人位決定戦以来、12大会ぶりの進出となった。

そして、堀内選手と磯貝選手の戦いとなった、名人位決定戦。最初の種目の伝票算を堀内選手が先取した。結果的に名人位決定戦のターニングポイントとなった、2種目目のみとり算。磯貝選手が種目を選択し、先に挙手したものの、ミスが出てしまい、堀内選手の2連勝となった。その後、みとり暗算で磯貝選手が一矢を報いたものの、4勝1敗で堀内遥斗選手が二十三代珠算名人位に輝いた。

堀内名人は、二回戦から名人位決定戦まで、特に、一瞬の勝負となる、かけ暗算とわり暗算を全て先に挙手し、制している。この名人戦に向け、充実した練習をすることができたのではないかと感じた。

誰が名人となってもおかしくない、接戦が多くあり、見ごたえのある名人位決定戦であったと思う。

準名人となった磯貝選手には、過去、名人を除いて、2大会連続で名人位決定戦に進出した選手はおらず、また、準名人となった後で名人位を獲得したのは、波多野優香三代永世名人のみ(そもそも名人位獲得者は、今回を入れても6名ですが)であるというデータが示すとおり、なかなか険しい道なのであるが、今回の経験を活かし、2年後の二十四代珠算名人位決定戦でのリベンジを期待したい。

また、三原選手については、今回学んだことを、これからの全国大会での活躍の糧としてもらいたい。(成績の詳細は、日本珠算688号を参照ください。)

競技委員会 木下 卓巳

平安速算会浄土寺教場と
湯川重男先生の思い出

平安速算会木幡平尾教場
中村 嘉次

私がソロバンを習いだしたのは今から67年前の小学3年生の春でした。真如堂の東麓（錦林車庫の西）にある換骨堂で伊藤武雄先生がされている珠算塾（平安速算会浄土寺教場）でした。ここは1949年（昭和24年）に伊藤武雄先生（林悌子先生の祖父）が平安速算会浄土寺教場として開塾されており、姉も兄もここで習っていたので私も小学3年生になったらソロバンを習いに行くというの普通の事でした。当時は小学3年生から学校の算数で九九が出てきますので、ほとんどの人が小学3年生からソロバンを習う人が多かったのです。お堂の前に机を並べてやさしいお爺さんに教えてもらったのを覚えています。その頃は米田喜造先生が助手をされていたので、珠算4級ぐらいまでは半分以上は米田先生に教えてもらっていました。

算塾を開塾したいという事で近くにある換骨堂に話に来られていたのでした。暫らくしてから伊藤先生から来月からは、みんな湯川先生が開塾されるソロバン塾に行くように言われました。浄土寺（地名）にある二葉幼稚園を借りられて塾を始められました。これが湯川先生が開塾された平安速算会浄土寺教場の始まりでした。

湯川先生は同志社大学の学生さんで子供が好きでやさしい先生で、声がきれいで特に読上げ算・読上げ暗算の練習を多くされていました。当時は平安速算会としての検定試験もあり高野中学校まで徒歩で受験に行つたのを覚えています。その頃は平安速算会の塾で競技会も盛んに行われており、特別練習会を伊藤先生宅の高野教場に選手が集まって練習・特訓をしていました。振興会の塾生大会にも毎年参加するようになって、二等・三等に入賞して嬉しかったのです。小学6年生で珠算1級の練習をしていましたが、珠算2級がなかなか合格出来ず、練習ではオール90点以上の点数が取れているのに、検定試験では何故か1種目だけが70点しか取れずに不合格でした。日商の珠算2級は合格出来ませんでした。全珠連の1級と実務検定の1級には合格していました。実務検定は手形割引とか様々な応用問題がありました。特に米田先生が熱心に教えて下さり13歳の時に実務検定1級を京都商業高校に受験に行きました。当時、私は身長140cmぐらいで小さかったので、試験監督の先生から「僕は何しに来たのか」と尋ねられ「試験を受けに来ました」と答

えると怪訝そうな顔をしておられました。周りはみんな高校生以上の大きい人ばかりだったので監督の先生も不思議に思われたのでしよう。試験では時間内に余裕で全問計算出来て、周りを見ると他の人はみんなまだ一生懸命に計算していました。湯川先生は競技会参加に向けて熱心に指導していただき、競技会で入賞して賞品を貰うのが楽しみでした。総合競技ではなかなか上位に入れませんでしたが、読上げ算と読上げ暗算はほとんど上位に入賞できていました。これは湯川先生が読上げを熱心に練習して貰えたからだと思います。それでも読上げ暗算は良く出来ませんが、読上げ算は1学年下の人も負けるようになっていました。そんな時に平安速算会の合同練習会で米田先生にその原因を見つけて貰いました。簡単な基礎の運指が出来ていませんでした。7+6を7を払って13を入れていました。1を足して5払って10を入れる方が早く間違いも少ないです。暗算で計算する時は頭の中で一瞬で計算するので影響は少ないですが、読上げ算では1回につき0.1秒ぐらい遅くなりその積み重ねで早く読上げされると間違いが多くなっていました。この時は修正するのは無理だと判断して暗算の強化に努めました。その結果、高校1年の時の塾生競技大会では読上げ暗算で優勝出来ました。大きな大会での優勝はこれが初めてで最後でした。

戦後すぐの生まれなので私よりも年上の人は子供の数自体が少なくソロバンの選手も少なかったです。逆に1学年下からはベビーブームで多

くの子供たちがソロバンを習って、私よりも優秀な選手が多くおられました。だから中学3年の時は全然ダメでしたが、高校1年の時は上の学年にはライバルが少なかったので優勝が出来ました。高校2年生以後は大学受験の勉強もあり、塾では時々行って小さい子供達にソロバンを教えていました。京都大学に入学してからは湯川先生の助手として珠算を教えていました。自宅が塾にも近く小学校の通学範囲にあり、この地域には親戚や知り合いも数多くおられるので塾生はほとんど増えていきました。競技大会にも積極的に参加して子供達が入賞するのが嬉しかったです。忙しい毎日でしたが充実した日々でした。私は子供が好きなので多くの子供が、土日には家によく遊びに来ていました。秋には京都大学の11月祭に連れて行ったり、節分には吉田神社に連れて行き京都大学の中の土木教室の研究室も案内したりしていました。

2回生で20歳になると湯川先生に時々食事や飲酒に連れて頂きました。この頃は生徒数が一番増えており、京都でも検定試験の受験者が最高人数を記録していた頃です。20代の先生としての月収は大卒学生の3倍以上はありましたので、祇園のクラブやバーなど結構高級な店に連れて頂いたのを覚えています。湯川先生が一番忙しく充実した時期でして、橘女子高校にも教えに行っておられました。月に1・2回は塾に来ていない時があり、私一人で塾生を見ているのは結構大変でしたが、自分が教えたい事をできるので楽しかった

です。収入が多くなると金銭感覚がルーズになってしまふのか、アルバイト代の遅配が続いたので伊藤弘先生に相談したら、修学院教場の方に来て欲しいと言われたので、それから大学院を卒業するまでは修学院教場で伊藤先生にお世話になりました。この頃、湯川先生は鞍馬口教場をされていた藤本先生がお亡くなりになりましたので、その後を引き継がれて鞍馬口教場も見られるようになり、水間先生ご夫妻は鞍馬口教場での教え子です。幸子先生と結婚されて今の下南田町の自宅で塾をされるようになって現在に至っておられます。亡くなられて先生の遺品で、読上げ算と読上げ暗算の本を3冊頂きました。1冊は表紙が擦れて薄くなり大変よく使われていますが今でも当塾では毎日使わせていただいています。

湯川先生は名古屋の高校を卒業後、京都の同志社大学にいられて珠算の世界に入られるようになり、先生はスポーツマンで陸上やテニス、高校時代から活躍されていたようです。珠算塾をされるようになってからは応援を主体にされるようになり、野球は中日、サッカーはパールサンガ、駅伝は年末の高校の府県対抗駅伝にはまり込み、これらの記録を逐一メモされており、次の大会はこれがこうなるだろうと予想をしながら応援されてきました。先生は綺麗な字でメモをよく取られており、塾からのお知らせも最後まで手書きのメモでした。

私以外に平安速算会浄土寺教場で珠算を教えていただいて、珠算塾を経営するようになった先生が多くお

られまして、杉本ふみ代先生、故内海捷美先生、粟津光弘先生、水間先生ご夫妻が湯川先生からの教えを今も引き継いで子供達を教えています。私は京都市役所を定年退職してから大学コンソーシヤムに第二の就職をしていましたが、住所を宇治市の木幡平尾に新居を構えて周りに子供の数が大変多いこと（今の町内だけで当時は300人の子供）、珠算塾が近づくも最も近くの醍醐教場の内海先生に開塾の承諾を得られたことで湯川先生・伊藤弘先生にご相談して平安速算会木幡平尾教場を開塾させて頂きました。開塾の準備については、湯川先生から様々な資料や教えを請い今の塾が出来るようになりました。湯川先生には小学5年生から65年間本当に大変お世話になりました。今頃は天国で今年の全国女子駅伝で京都が優勝したことを肴に故伊藤弘先生らと美味しいお酒を飲んでおられることと思います。ご冥福をお祈りいたします。

湯川重男先生との出会い

平安速算会白梅町教場

水間 義之・雅栄

令和3年7月20日、私達夫婦の恩師でもある、京都珠算振興会元副会長・湯川重男先生が享年84歳の生涯を全うされました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

私達夫婦と湯川先生との出会い

は、お互い小学校2年生の時、「平安速算会鞍馬口教場」普通のおうちの2階が教室でした。

今から半世紀くらい前、まだ京都に市電が通っている時代で教室の前が「千本十二坊」という電停でした。

玄関を開けて2階へあがっていくと、木の1枚板の大きな黒光りした机と椅子があり、ニコニコ笑った湯川先生がどしりと座っておられました。その後、マンシヨンの1階の店舗に引越し、そこで夫婦共々高校3年まで、自分の練習をしながら助手をさせていただきました。

振り返れば、お互いいろいろな思い出がよみがえってきます。

主人は、読上げ算が得意で、先生の読上げが早いのか？運珠が早いのか競争したり、夏はY.M.C.A.の佐波江キャンプ場で先生の息子さんも含めて、キャンプを楽しんだりしました。助手をするようになってからは、子供達のつまずきを発見するため、塾内テストの採点で誤算発見法を教えて頂いたり、検定試験前になると、検定前特別練習を一人で任されたり、競技会や検定の引率は高学年が低学年の面倒をみる。それは湯川先生から学び、当塾でも高校生が、小学生の面倒をみる事にしており、「一日小さな先生」が誕生しております。

私は、小さい頃から泣き虫で、うれしい時も、悔しい時も、悲しい時も腹が立つても、すべて泣く。それを先生はすべて感じ取って、指導していただきました。

マラソン・ラクビー・サッカー：スポーツが好きで、今日は何の練習かなあと塾に行くと、ホワイトボー

ドに「42・195」?????

「ハイ、今日は制限時間、42・195分休み無し!!!」とか、出席カードは先生オリジナル、「東海道五十三次宿場めぐり」「日本の都市めぐり」その時代の人口等が調べてあったり、細かな事を調べることが得意だったような気がします。

高校生になった私は、府立朱雀高校で珠算部に入りました。

その頃、全国高等学校珠算競技大会の京都代表の出場校は3校で3番目を府立朱雀と西山高校が毎年争うという時代。塾の練習も大会の練習もどちらも特訓の毎日でした。

おかげで3年生の時、全国大会（東京）にも行かせていただきました。（通用する成績ではなかったことは周知の事です。）

「まーちゃんー国民珠算競技大会見に行こうか！」全国のレベルを目のあたりにして、私に負けん気を起こさせておられたのかもしれない。

就職で悩んでいた時も、「そのまま指導者として残るのもよし、でも、一度は社会の中で仕事してみるのが必要だ」と僕は思う。まあ嫌になつたら戻って来てくれたらいいやん！」って今の会社に就職するのをとつても喜んで、「就職祝に、琵琶湖1周ドライブ行こうか？」って奥様と一緒にドライブして長命寺の808段の階段を杖を突きながら登った思い出が懐かしく思います。あれから37年が経ちます。

18年前、別々の道を歩んでいた二人がひよんな事から結婚することになったと一番に報告に伺った際、「こゝなる事が僕は一番幸せだ」と細い目をもっと細めて喜んで頂きました。

十数年前、湯川先生に「後継者としてそろばん塾をしてくれないか」とのお話を頂き、始めるにあたって、主人と、今はいろいろ基礎教材が出ているので、湯川先生流ではなく自分達流で言いながら、たくさん教材を使用して試行錯誤しましたが、結局、湯川先生が自己作成された基礎教材を手書きの湯川先生流からパソコンで打ち直し今も使っています。やはり一番良かったです。

開塾する際に「僕は水間君を指導者として育てた、でも指導者という目線だけでは足りない事がある。まーちゃんは最後まで選手として育てた、だから、選手としての目線でこうしたら、ああしたらって、二人でプラスして、子供たちにそろばんを教えてほしい」とその言葉を胸に毎日子供達と接しています。

昔、冗談で「遺品頂戴！って」主人が言った『関孝和全集』や塾に飾ってあった『そろばんの製作工程の額』は今、当塾で「水間君、まーちゃんがんばれよ!!」って言っているようです。

それに「まーちゃんが50歳になったらあんさんコンクール50歳以上の部門で対決しよう！」と言われていたので、50歳になった時に「先生やる??」って聞いたら、「また今度！」って対決できないままです。

まだまだ教えて頂きたいことがいっぱいあったのに叶いません。しばらく空の上で、伊藤弘先生や、内海久行先生、内海捷美先生と見守ってください。時がきたら、また読上げ算や暗算で対決しましょう。その日まで。

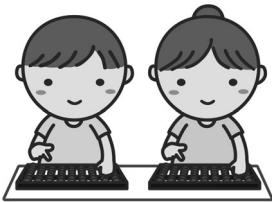
第3回例会・研修会

1月16日(日)、研修会を京都商工会議所71CD会議室におきまして開催致しました。コロナ感染者急増が心配される中、京都珠算振興会の年明け初めの行事と言うことで、参加者31名が集まりました。

今回の研修会は、私が担当させていただき、「検定試験審査基準について」の表題で、審査基準の例示を確認しながら進めさせていただきました。久しぶりの審査についての研修会と言うことで、意見交換並びに審査確認が先生方と出来、貴重な研修会になりました。また、検定試験申込から賞状発行までの一連の流れも確認していただける場にもなりました。

今後も機会があれば検定試験審査についての勉強会を開催し、検定試験審査が不備無く進めて行けますよう、会員の先生方のご協力をお願い申し上げます。

検定委員会 常務理事 渡部京子



一級合格 第23回珠算能力検定試験

令和3年10月24日(日)

- (注) ゴシック字は満点合格者
- 宮田碧・久留宮陽(水上) 別所咲奈・西村拓真(北川) 正田琳梨・篠原彩野・大津智洋・中村里織・東ひまわり・阪本琥太郎(醍醐) 前川楓果(天ヶ池) 小峠雅・田畑優斗・田中怜旺・永田紗菜(浦) 河野航大・高井翔太郎(北山) 安本翔太(高野修学院) 藤井愛理・溝辺香里菜・東海林志祐・三浦翔・北川もあ・中野純奈・三原駿介・手塚柚那・上原佳那子・真木蒼佑・馬場悠葵・石田藍子(西京都) 三木良真・中野結衣(誠珠会) 増田和旺・尾崎敦啓(脳育) 小川翔希(桂川) 箕口仰・平野智子・片山花音・足立凌・長谷川凜(ねこだん) 大井千菜津・早川璃子(adaco) 関口鈴菜(入江)

第22回暗算検定試験

令和3年10月24日(日)

- 石原凜(余田) 藤岡晃一朗・金川心春・榊原和真・堀口碧志・金木亮太(脳育) 里見元(荒井)

第23回暗算検定試験

令和3年12月12日(日)

- 田中怜旺(浦) 安藤大輝・石田来暖(高野修学院) 柴田唯聖(桃南)

第36回伝票算検定試験(近団連)

令和3年12月12日(日)

- 相星恵里菜(楠本) 清水裕太・清水美咲(白梅町) 西口実来・梅本真生(草苑牧野) 小高涼帆(入江) 小島由菜(醍醐) 遠藤誠也・柴田雅功(adaco) 岡詩絵・篠原梓沙・岡野音花・石原凜(余田) 秋吉匠汰(桃南)

目と指で、イメージ学習 ちびっこそろばん(0)~(11)

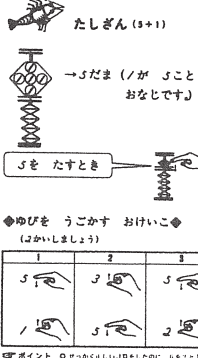
難しい理屈は大の苦手でも、子どもたちは物事をイメージで捕えて、体で覚えることは得意です。目で覚え、指で理解することの大切さ。ちびっこそろばんシリーズはこの点に着目した業界初の園児でも学習可能な初歩教材です。豊富な図解に的確な指導要領——分かりやすい教材は、また教えやすさの証明です。類似書の追隨を許さぬ高いシェアを誇ります。特に重要な入門段階では、復習用にプリント集もございます。



B5判 48頁・定価 ¥300

佐藤出版株式会社 ☎(0532)45-5956・FAX 48-4653

ちびっこ 0 18頁



第36回伝票暗算検定試験(近回連)

令和3年12月12日(日)

近江璃斗・小松映太・家村叡瑠・村尾紗奈・村尾聡亮・桑名芽生・大嶋勘介(アイ)・田中怜旺(浦)・金亮(上田)

第292回暗算検定試験

令和3年10月24日(日)

八段(一名) 宮崎晴己
五段(一名) 中尾和奏
四段(一名) 吉井晨悟
三段(一名) 佐藤百華
二段(一名) 寺田和馬
初段(一名) 次橋俊樹

第293回暗算検定試験

令和3年12月12日(日)

八段(一名) 今井順也
七段(一名) 鈴木楓菜
六段(一名) 齋藤みな実・吉井晨悟
五段(一名) 原田美優
二段(一名) 門屋萌衣・田中友士郎
初段(一名) 早川璃子

第36回伝票暗算検定試験(近回連)

令和3年12月12日(日)

初段(二名) 矢田正鷹・橋本紗希
準初段(一名) 田坂綾菜
四段(三名) 佐藤光・正田琳梨・鈴木楓菜
参段(四名) 和田愛海・山本穂花

正田愛珠・長井瑠香

準参段(六名) 土橋玖夢・大井千菜津・湖上袖希・宇野琴乃・横田知里・山口湮穂

式段(二名) 田中愛莉・小倉実桜
準式段(三名) 高橋香凜・西田伊織・谷内穂

初段(七名) 畠中心春・小澤希佳・市川直輝・山本萌愛・谷内朔・楠木菜・柴田唯聖

準初段(五名) 上原未来・藤井咲良・吉井晨悟・細川亜沙・小川翔希
第36回伝票暗算検定試験(近回連)
令和3年12月12日(日)

十段(一名) 高橋風介
九段(一名) 山本柚葉
七段(一名) 鈴木淳哉
六段(二名) 上原寛正・堀江夏穂
五段(二名) 峯森捺寧・宮島彩夏
四段(一名) 西田伊織
参段(一名) 坂田美袖
式段(一名) 河那部詩

第139回段位認定試験

令和3年10月24日(日)

受験者 151名
暗算申込 90名
珠算申込 51名
暗算申込 14名

珠算段位認定者

満点十段(一名) 三原智輝
九段(一名) 竹内美結
六段(一名) 竹内幸希
五段(三名) 久野凌佑・大槻奈緒・橋本樹

四段(四名) 高橋風介・山本柚葉・三原駿介・喜多桃香
三段(五名) 吉澤佳生・島本和範・矢ヶ部菜月・中村里織・三浦翔
準三段(十名) 小林周・西村夏菜・伊藤利紗・楠華峯・海野圭吾・佐藤美来季・矢田部結衣・藤川真綾・松岡拓哉・山岸天莉

二段(九名) 久保十八・竹谷快斗・間下佳歩・平野結子・尾崎壮祐・千本木輝・岩泉琉斗・竹中うた・谷山颯希

準二段(十六名) 風間芽奈・長谷川由衣・坂田花菜・中川雅子・小林葵依・清水薫・林千咲稀・鈴木楓菜・勝木涼子・伊原莉菜・西田伊織・吉田和可・吉田明未・村上奈々・村上舞・河原奈那

初段(十六名) 佐藤光・伊藤睦・民谷萌々香・出口絵美里・村上愛佳・眞木琴子・武田明子・林蓮太・月本壮郁・中村早詠・和田愛海・矢ヶ部椎菜・松村拓真・塩貝狂人・前川優妃・竹中はな
準初段(十四名) 中島亜依美・中林美菜・東出蒼汰・池内楓人・中浦杏春

筒井綸菜・小川紗波・林歩咲・森田翔星・最上莉緒・松富和紗・白井輝夏・田井心花・重面早希

暗算段位認定者

満点十段(一名) 三原智輝
九段(一名) 竹内美結
八段(四名) 竹内幸希・久野凌佑・高橋風介・三原駿介
六段(二名) 矢ヶ部菜月・喜多桃香
五段(四名) 佐藤光・大槻奈緒・橋本樹・山本柚葉

四段(五名) 吉澤佳生・矢ヶ部椎菜・海野圭吾・尾崎壮祐・中村里織
三段(十一名) 竹谷快斗・出口絵美里・島本和範・間下佳歩・平野結子・楠華峯・千本木輝・佐藤美来季・矢田部結衣・三浦翔・北山隼

準三段(六名) 久保十八・伊藤睦・小林周・伊藤利紗・和田愛海・高山開智
二段(六名) 峯森捺寧・堀江夏穂・民谷萌々香・林歩咲・齊藤叶実・尾崎敦啓

準二段(四名) 西村夏菜・鈴木楓菜・宮川藍・山本穂花
初段(一名) 今井順也
準初段(十二名) 長谷川由衣・坂田花菜・村上愛佳・清水薫・林蓮太・筒井綸菜・小川紗波・森田翔星・松浦碧人・増田和旺・岩本咲良・山本拓未

施行日 令和3年10月24日(日)			
第223回 1・2・3級珠算能力検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
1級	176名	59名	33.5%
2級	185名	74名	40.0%
3級	184名	99名	53.8%
計	545名	232名	
施行日 令和3年10月24日(日)			
第139回 準1級・準2級・準3級			
第402回 4・5・6・7・8・9・10級			
珠算能力検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
準1級	45名	30名	66.7%
準2級	64名	54名	84.4%
準3級	46名	34名	73.9%
4級	90名	66名	73.3%
5級	79名	61名	77.2%
6級	74名	66名	89.2%
7級	44名	40名	90.9%
8級	47名	44名	93.6%
9級	25名	19名	76.0%
10級		6名	24.0%
計	514名	420名	
第252回 暗算検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	12名	7名	58.3%
1級	16名	8名	50.0%
2級	31名	22名	71.0%
3級	43名	32名	74.4%
準1級	14名	7名	50.0%
準2級	11名	9名	81.8%
準3級	7名	7名	100.0%
4級	24名	23名	95.8%
5級	19名	17名	89.5%
6級	16名	16名	100.0%
7級		12名	75.0%
8級		1名	6.3%
9級	16名	1名	6.3%
10級		1名	6.3%
計	209名	163名	
施行日 令和3年12月12日(日)			
第140回 準1級・準2級・準3級			
第403回 4・5・6・7・8・9・10級			
珠算能力検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
準1級	32名	20名	62.5%
準2級	42名	36名	85.7%
準3級	40名	25名	62.5%
4級	59名	49名	83.1%
5級	53名	44名	83.0%
6級	44名	41名	93.2%
7級	43名	36名	83.7%
8級	16名	15名	93.8%
9級	12名	12名	100.0%
10級		0名	0.0%
計	341名	278名	
第253回 暗算検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	23名	12名	52.2%
1級	26名	9名	34.6%
2級	41名	26名	63.4%
3級	69名	59名	85.5%
準1級	14名	8名	57.1%
準2級	11名	8名	72.7%
準3級	17名	15名	88.2%
4級	40名	40名	100.0%
5級	21名	19名	90.5%
6級	19名	19名	100.0%
7級		13名	76.5%
8級		2名	11.8%
9級	17名	1名	5.9%
10級		1名	5.9%
計	298名	232名	
第36回 段位・1・2・3級伝票暗算検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	45名	30名	66.7%
1級	22名	15名	68.2%
2級	40名	34名	85.0%
3級	32名	30名	93.8%
計	139名	109名	
第36回 段位・1・2・3・4・5級			
伝票暗算検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	29名	10名	34.5%
1級	17名	9名	52.9%
2級	14名	6名	42.9%
3級	23名	17名	73.9%
4級	8名	7名	87.5%
5級	5名	5名	100.0%
アスリート	0名	0名	0.0%
計	96名	54名	

(注)伝票・伝票暗算・暗算段位の合格者数は昇段者数・昇段率

会員消息

お悔やみ

岡本 禪 先生

参与

事務局 日誌

十月十九日

一. 常務理事会

十月二十四日

一. 第223回1級〜3級、第139回準1級〜準3級、第402回4級〜10級珠算能力検定試験、第252回暗算段位検定試験・1級〜10級暗算検定試験、第133回段位認定試験実施 於 京都商工会議所

一. 第3回役員会

1. 10月検定の報告と反省 2. 12月検定について 3. 2021年京都カップ珠算競技大会について 4. 2021年全国そろばんコンクールについて 5. 第65回塾生珠算競技大会について 6. 第25回ちびっ子そろばんフェスティバルについて(中止) 7. 令和3年度優良生徒表彰について 8. 令和4年1月16日開催の研修会について 9. 令和4年1月16日開催の例会並びに新年会について 10. 総会開催の日時・会場について 11. 会報第212号発行の報告 12. 令和4年度役員改選について 13. その他

一. 第6回検定委員会

十月二十八日

一. 近団連伝票算検定委員会

(Zoomによるオンライン会議)

十月二十九日

一. 第7回検定委員会

十月三十一日

一. 第5回創立70周年記念委員会

於 京都経済センター7ーF

一. 創立70周年記念会場下見 於 ANAクラウンプラザホテル京都 十一月五日

十一月五日

一. 「学校支援活動珠算講師派遣」分担会議 於 全珠連京都府支部 十一月七日

十一月七日

一. 近畿ブロック連合会& 近団連幹部会合同会議

一. 近団連新検定検討委員会 於 大阪珠算協会

十一月十四日

一. 第65回塾生珠算競技大会開催 於 ラポール京都

十一月十六日

一. 創立70周年記念誌会議 於 京都経済センター4ーI

十一月二十六日

一. 2021年京都カップ珠算競技大会会場下見 於 京都新聞文化ホール

十一月二十二日〜二十五日

一. 2021年 全国そろばんコンクール開催

十一月二十八日

一. 日珠連二十三代珠算名人位決定戦 於 KFCホール3階

一. 第6回創立70周年記念委員会 於 京都経済センター7ーF

十一月五日

一. 第8回検定委員会

一. 12月検定について

一. 第4回役員会

1. 12月検定について 2. 2月検定について 3. 2021年全国そろばんコンクールの報告 4. 第65回塾生珠算競技大会の報告 5. 二十三代珠算名人位決定戦の報告 6. 第25回ちびっ子そろばんフェスティバルについて(中止)

7. 2021年京都カップ珠算競技大会について 8. 第50回近畿珠算競技大会 於 京都府代表選手選考について 9. 令和3年度優良生徒表彰式について 10. 新春そろばんはじめ初めについて(中止)

11. 1月の例会ならびに新年会について 12. 小学校支援活動珠算指導の状況報告 13. 令和4年度事業計画について 14. その他

十二月九日

一. 日珠連珠算振興部会 (Zoomによるオンライン会議)

十二月十二日

一. 第140回準1級〜準3級、第403回4級〜10級珠算能力検定試験、第253回暗算段位・1級〜10級暗算検定試験、第36回段位・1級〜3級伝票算検定試験・第36回段位・1級〜5級伝票算検定試験実施

一. 2021年全国そろばんコンクール部門別「全国一決定審査用問題」実施 於 京都経済センター4ーC

十二月十九日

一. 2021年京都カップ珠算競技大会開催 於 京都新聞文化ホール

一. 第24回ちびっ子 そろばんフェスティバル(中止)

十二月二十一日

一. 創立70周年記念誌会議 於 京都経済センター4ーH

一月五日

一. 新春「そろばんはじめ初め」(中止)

一月十四日

一. 日珠連珠算振興部会 (Zoomによるオンライン会議)

一月十六日

一. 第7回創立70周年記念委員会

一. 委員会

一. 第10回総務委員会

一. 研修会

一. 検定試験審査基準について 講師 渡部京子先生

一. 新年会(中止)

一月十四日〜二十三日

一. 第76回きんきベスト100実施

一月十八日・二十五日

一. 第11・12・13・14回総務委員会

一. 会報第213号編集並びに校正

一月二十三日

一. 第50回近畿珠算競技大会京都府代表選手選考会 於 職員会館かがわ

二月二日

一. 第50回近畿珠算競技大会 第一回準備会(リモート会議)

二月六日

一. 第10回検定委員会

1. 2月検定について

一. 近団連競技委員会

(きんきベスト100第76回大会整理)(中止)

二月十一日

一. 正・副理事長会議 於 大阪珠算協会

編集後記

残念ながら、今年も引き続き新型コロナウイルスに振り回されています。過去の会報を読み返してみますと、第208号(令和2年7月5日発行)から今回までの編集後記全てにコロナウイルスのことが記されています。今年に入ってから、既に幾つもの事業が中止になっております。令和4年3月27日(日)には、京都珠算振興会において節目となる『創立70周年記念式典』が控えております。是非とも開催できることを切に願っております。